

生涯学習制度 未来への道しるべ



会報誌「JPTA NEWS」へのご意見・ご感想を募集しています。

右記のQRコードを読み取り、アンケートフォームからご回答ください。



ISSN 0914-2517

特集

未来への道しるべ

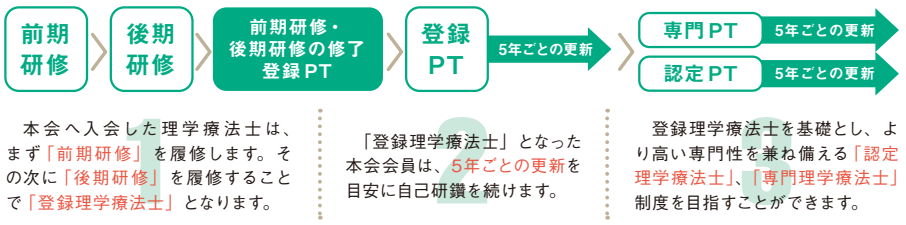
生涯学習制度

なぜ生涯学習制度が必要なの？

生涯学習は、個人の成長だけでなく社会の発展にも役立つ大切な考え方です。その実践は、現代社会でますます重要になっています。本会では、多様化するニーズに応える理学療法士の育成を目指し、国民の皆さまに対して理学療法士の専門職としての質を保証するため、2022年度から新たな生涯学習制度を導入しました。この制度では「5年ごとの更新制」を取り入れており、理学療法士が生涯にわたって知識と技術を維持・向上させることが可能となっています。

3つのポイント

生涯学習制度のイメージ図



3～5年目で学ぼう！

後期研修

※A～Fの受講をコンプリート！※

- 座学：51コマ（76.5時間）
- ☐ A：臨床推論
 - ☐ B：臨床疫学
 - ☐ C：領域別研修（座学）
 - ☐ D：関連領域
 - ☐ E：領域別研修（事例）、（育成）
 - ☐ F：最近の知見

実地経験：3年（36ヵ月）

- ☐ 実地経験

5 Page

1～2年目で学ぼう！

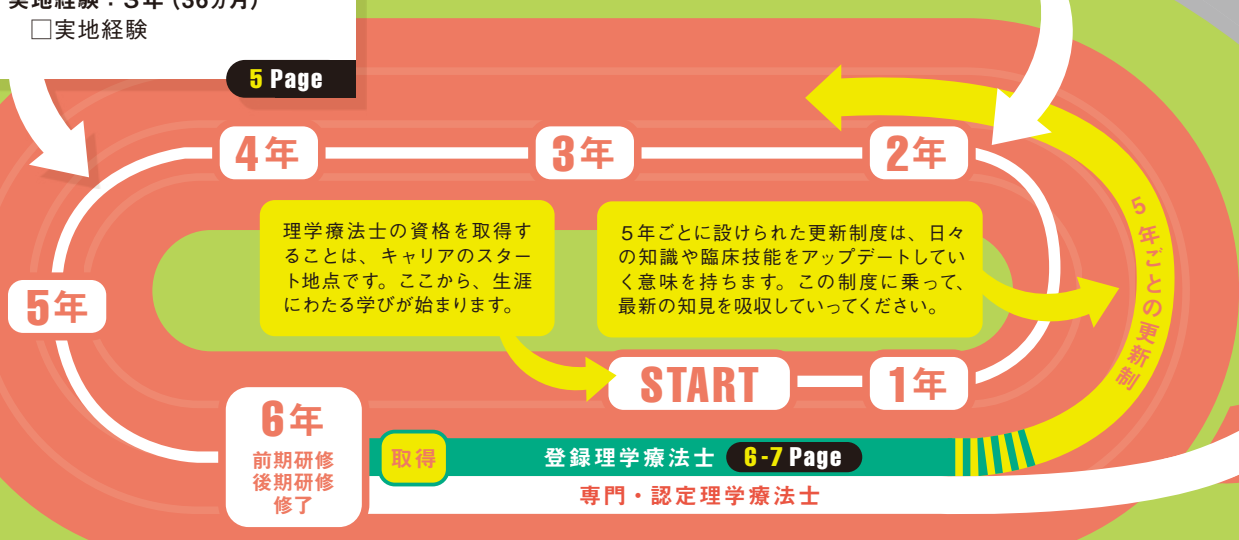
前期研修

※A～Dの受講をコンプリート！※

- 座学：22コマ（33時間）
- ☐ A：初期研修
 - ☐ B：理学療法の基礎
 - ☐ C：理学療法の専門性
- 実地研修：32コマ（48時間）
- ☐ D：実地研修

4 Page

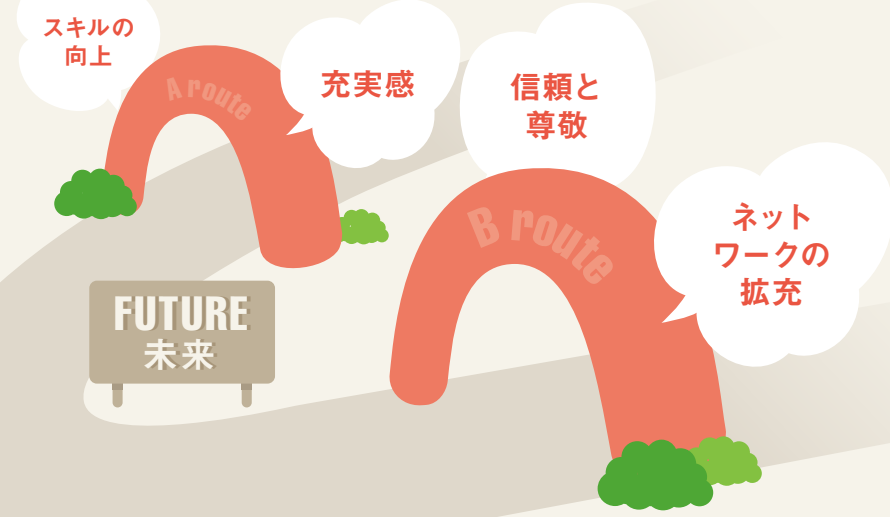
登録理学療法士制度



認定理学療法士制度

- 脳卒中
- 神経筋障害
- 脊髄障害
- 発達障害
- 運動器
- 切断
- スポーツ理学療法
- 徒手理学療法
- 循環
- 呼吸
- 代謝
- 健康増進・参加
- 地域理学療法
- 介護予防
- 補装具
- 物理療法
- 褥瘡・創傷ケア
- 疼痛管理
- 臨床教育
- 管理・運営
- 学校教育

8-9 Page



専門理学療法士制度

- 基礎
- 神経
- 小児
- 運動器
- スポーツ
- 心血管
- 呼吸
- 糖尿病
- 地域
- 予防
- 支援工学
- 物理療法
- 理学療法教育

10-11 Page

個人として

新しい知識やスキルを習得することで、自己啓発や自己実現を達成できます。

個人の成長

社会人として

学び続けることで、社会の一員として積極的に関わり、貢献することができます。

社会参加

理学療法士として

急速に変化する労働市場に対応するためには、常に新しいスキルや知識を身につける必要があります。

職業能力の向上

「生涯学習FAQ」
<https://www.japanpt.or.jp/inquiry/faq/lifelonglearning/>



未来の姿をイメージしながら、そこに到達するためには、
どんなことをどのくらいの時間で学べばいいのでしょうか？

リガクさんの 学修計画

到達目標

〔前期研修・後期研修の到達目標〕
https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/zenkikouki_mokuhyou.pdf



Prologue

大学を卒業し、新卒で病院に勤務することになりました。新しい環境と仕事に対する期待と不安が入り混じる中、先輩から日本理学療法士協会の生涯学習制度の話聞いて、自己成長のためにこの制度を活用しようと決意しました。

必要に応じて指導を求め、
基礎的（ベーシック）理学療法を実践できるレベルに！

前期研修 1～2年目

最短履修期間：2年間

士会主催研修会（対面 or オンライン）
eラーニング 入会初年度9月以降に視聴可

前期研修 終了

COMPLETE

後期研修 3～5年目

最短履修期間：3年間

士会主催研修会（対面 or オンライン）
eラーニング

後期研修 終了

COMPLETE

多様な領域で標準的（スタンダード）理学療法を
臨床実践でき、学生や後輩を指導できるレベル

前期研修カリキュラム

A～C：座学22コマ（33時間）／D：実地研修32コマ（48時間）

〔前期研修カリキュラム〕

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/zenki_curriculum_20221109.pdf



A 初期研修	コマ数	B 理学療法の基礎	コマ数	C 理学療法の専門性	コマ数
A-1 職業人と倫理	1	B-1 一次救命処置と基本処置	1	C-1 神経系疾患の理学療法I、II	2
A-2 協会組織	1	B-2 クリニカルリズニング	1	C-2 運動器疾患の理学療法I、II	2
A-3 人間関係および接遇	1	B-3 理学療法の研究方法論	1	C-3 内部障害の理学療法I、II	2
A-4 理学療法における関連法規	1	B-4 統計方法論	1	C-4 予防領域の理学療法I、II	2
A-5 理学療法における情報管理	1	B-5 症例報告・発表の仕方	1	C-5 チーム医療の中の理学療法	1
A-6 生涯学習について	1	B-6 リスクマネジメント	1	C-6 がんのリハビリテーション	1

▶履修順序は問わないがすべて必須科目 ▶入会1年目の会員のみ、eラーニングは9月から受講可能

4月～8月は、対面で参加できる新人研修会を開催している都道府県理学療法士会もあります。新しいコミュニティの中で、あなたの学びの幅も広がります！

学びのススメ



野島 菜央さん
公益財団法人慈愛会
今村総合病院

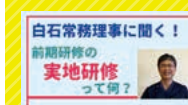
私は、大学卒業後そのまま大学院へ進学したため、基本的には大学院で研究や勉強をし、週2日非常勤として臨床業務を行うという生活スタイルでした。そのため、eラーニングは主に大学院での作業の合間にしていました。非常勤ということもあり、なかなか病院での勉強会等への参加が難しいことも多かったため、eラーニングでたくさんのことを学ぶことができて、とても助かっていました！



オ藤 優輝さん
社会医療法人美杉会
男山病院

私はもともと自宅で勉強する習慣がなく、最初はeラーニングを計画的に進めることができませんでした。しかし、周りの環境の影響もあり、次第に勉強への意欲が高まり、まずはeラーニングを進めるため、帰宅後に1時間は勉強の時間に充てるようにしました。自分で計画を立て、行動に移すことで、少しずつ勉強を進めることができるようになり、前期研修カリキュラムを修了できました。

D 実地研修	コマ数
D-1 イ：自施設での受講 協会の作成のガイドラインを参考にしたプログラムによる受講 口：自施設での受講 施設独自の研修プログラムによる受講	32
D-2 「他施設での見学研修」「eラーニング」「症例検討会の聴講」	



〔前期研修実地研修〕
<https://www.youtube.com/watch?v=RAJOXZ16Ylg>



〔前期・後期研修、登録理学療法士制度について〕
<https://www.youtube.com/watch?v=Q34gY6PsJo>

後期研修カリキュラム

F：座学51コマ（76.5時間）／実地経験3年（36ヵ月）

〔後期研修カリキュラム〕

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/kouki_curriculum_20221109.pdf



A 臨床推論	コマ数
A-1 理学療法診断学①	2
A-2 理学療法診断学②	2
A-3 画像診断学	2

B 臨床疫学（演習）	コマ数
B-1 臨床疫学I、II	2
B-2 文献検索演習	2

C 領域別研修（座学）	コマ数
C-1 神経系理学療法学	19
C-2 運動器系理学療法学	
C-3 内部障害系理学療法学	
C-4 病期別理学療法学	
C-5 周辺領域と理学療法	

D 関連領域	コマ数
D-1 栄養学	1
D-2 創傷治療学	1
D-3 薬理学	1
D-4 福祉住環境総論	1

E 領域別研修（事例）	コマ数
E-1 神経系理学療法学	2
E-2 運動器障害系理学療法学	2
E-3 内部障害系理学療法学	2
E 領域別研修（育成）	コマ数
F-4 臨床実習指導	2
F-5 臨床教育方法論	2
F-6 ティーチングとコーチング	2

F 最近の知見	コマ数
F-1 神経系領域の最近の知見	1
F-2 運動器系領域の最近の知見	1
F-3 内部障害系領域の最近の知見	1
F-4 基礎・公衆衛生領域の最近の知見	1
F-5 その他の関連領域に関する最近の知見	1
F-6 トピックス	1
F-7 協会の方針	1
F-8 世界の動向	1

実地経験：3年（36ヵ月）

在会会員としてマイページに勤務先登録のあること。



〔後期研修実地経験とは？〕
https://www.youtube.com/watch?v=BoJJB_FnpRk

C 領域別研修（座学）は全19コマの受講が必要です。C-1～C-5で各2コマ（計10コマ）は必ず受講し、残るコマは全領域の中から選択して受講します。

〔Cテーマ（詳細版）〕

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/kouki_20231115.pdf



E：領域別研修（事例） 士会主催・士会承認症例検討会（対面 or オンライン）

「領域別研修（事例）」って何？

各分野での臨床推論および課題解決のプロセスを経験学習します。都道府県理学療法士会が主催するものと登録理学療法士取得者が開催申請を行い、都道府県理学療法士会が承認して開催されるものがあります。

士会主催症例検討会 参加者により学びの場を与えるためにどんな工夫をして開催していますか？

千葉県理学療法士会

登録理学療法士制度に対応するために新設した生涯学習局と各ブロックの学術担当者が連携し、士会主催症例検討会のブロック運営を推進しました。現在、各ブロックでWeb開催が可能となり、士会主催の症例検討会を通じてブロック内や近隣施設の理学療法士との交流が深まっています。また、発表者がよりスムーズに症例発表を行えるよう、座長との事前打ち合わせやサポートも行っています。今後は、症例検討がより身近に、発表者のハードルが下がるような開催の工夫を心掛けたいと考えています。



池田一樹さん（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院）

山形県理学療法士会

会員が参加しやすい、かつ顔の見え関係づくりを促すため、主に県内4支部ごとに開催しております。また、発表者だけでなく聴講者も含め全員が主体的に参加できるよう、少人数でのグループワークを行い、意見交換や情報共有の機会となるよう工夫しています。同一症例を急性期、回復期、生活期ごとに発表し、患者の転帰を詳しく検討し各病期での介入を同時に振り返る取り組みも行っています。対面形式を原則としています。移動時間の関係や家庭の事情で参加しにくい会員のために、オンラインを併用したハイブリッド開催も取り入れています。



石川慎一郎さん（独立行政法人国立病院機構 山形病院）

前期研修・後期研修の受講を通して、
多様な障害像に対応できるジェネラリストへと成長できます。
この前期研修・後期研修の修了者が、登録理学療法士となります。

6年目

登録理学療法士

登録理学療法士は、5年以上の実践経験を有し、
本会が定めた150時間以上のカリキュラムを
修了した者に付与される称号です。

登録理学療法士になると何ができる？

登録理学療法士の役割とは？
https://www.youtube.com/watch?v=2KE3kg_1Lz0



本会は、社会に対して理学療法の質を
保証するため、理学療法士が長く続
けられる学びを支援するとともに、す
べての会員が制度を通して、多方面
の知識を幅広く備えた登録理学療法士
(ジェネラリスト)であることを目指して
います。

知識・技術を提供しよう！

学びを拡げ
ることができる

登録
理学療法士

都道府県理学療法士会主催、ブロック主催、
日本理学療法士協会主催の研修会、講演会、
ワークショップ等の講師ができます
| 実地研修の実地指導者になれます
| 症例検討会の座長になれます
| 所属施設主催の研修会の開催者になれます

より高い専門性を！

職業能力の
向上ができる

登録
理学療法士

| 認定理学療法士を目指すことができます
| 専門理学療法士を目指すことができます
| 介護予防推進リーダー・地域ケア会議推
進リーダーを目指すことができます
| 所属施設主催の研修会の開催者にな
れます

スキマ時間を
活用して
学べる！

皆さまのライフスタイルに合わせた学習環境の提供のため
にさまざまなeラーニングをご用意しています。

- 前期研修、後期研修
- 登録理学療法士更新／認定・専門理学療法士更新対象コンテンツ
- 介護予防推進リーダー／地域ケア会議推進リーダー 他

理学療法士
の方向け
トップページ
<https://www.japanpt.or.jp/pt/seminar/browse/02/>



10年目

登録理学療法士更新

さらに5年ごとの更新制とすることで、
社会に対する理学療法士の質の担保の証とします。

登録理学療法士の更新要件

登録理学療法士更新について

理学療法士の
方向けトップページ
生涯学習
生涯学習
制度について
登録理学療法士
制度について
<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/registered/>



理学療法士は、常に進化する医学と医療を実践するために、一生を通じて知識を深め、技術を磨き続ける責任があります。
日本理学療法士協会は、理学療法士が自ら学び、研修を効果的に進めるよう、登録理学療法士になった後も継続的な生涯学
習を支援します。学びは一生続くプロセスであり、さまざまな形で実践できることを示しています。

更新のための
活動対象期間

6年目

7年目

8年目

9年目

10年目

11年目

ポイントの取得（50ポイント） ※1時間＝1ポイント

1 カリキュラムコードに準じた学習での取得

① 「JPTA NEWS」
「日本理学療法士協会雑誌 Up to Date」
を利用した問題解答

② 日本理学療法士協会eラーニングによる受講

POINT ①のJPTA NEWSは偶数月に発行！日本理学療法士
協会雑誌Up To Dateは年4回（2、5、8、11月）発行！
②はスキマ時間に視聴できます！

③ 研修会・講習会・ワークショップ等の受講

- 協会・士会・ブロックの主催のもの
- 士会が承認した会員所属施設主催のもの

④ 学会への参加

2 雑誌投稿での取得

広報誌等への投稿・執筆（士会・協会が対象と認める発行物）

更新時研修の受講

eラーニングで受講

「JPTA NEWSのバックナンバー」
会員限定 JPTA- バック
コンテンツ Topics ナンバー
<https://www.japanpt.or.jp/privilege/topics/backnumber/>
14 Page
※毎号14ページに掲載

「日本理学療法士協会雑誌 Up to Date」
会員限定 生涯学習 日本理学療法
コンテンツ 支援 協会雑誌 Up to Date
<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/uptodate/>

ご注意ください！
Attention

更新期限を過ぎてしまうと、
追加の要件が発生します。
計画的な学びの習慣を！



より高い専門性へ

臨床実践分野において秀でている理学療法士

「認定理学療法士」

取得までのモデルケース

6年目
登録理学療法士

受講

申請▶認定試験

合格

認定
理学療法士
取得

認定理学療法士カリキュラム

科目群	指定研修カリキュラム	日本理学療法 学術研修大会の参加	臨床認定カリキュラム (必須・選択)
コマ数 (時間)	12コマ (18時間)	全日程参加	必須15コマ (22.5時間) 選択5コマ以上 (7.5時間以上)
研修形式	eラーニング	各大会による	オンラインor対面 (教育機関による)

申請年の前年にすべて受講

指定研修
カリキュラムで
学びを増やそう!

指定研修カリキュラムの
シラバスはこちら

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/shitei_syllabus.pdf



日本理学療法
学術研修大会へ
参加しよう!

毎年5月頃に開催される
日本理学療法学術研修大会
への参加が必要です

<https://www.japanpt.or.jp/pt/seminar/browse/01/>



臨床認定
カリキュラムで
学びを深めよう!

臨床認定カリキュラムの
シラバスはこちら

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/rinshounintei_syllabus.pdf



臨床認定カリキュラムって何?

各分野のシラバスに則り、保健・医療・介護施設、教育施設、都道府県理学療法士会等の組織が教育機関となつて、その分野のカリキュラムを研修として実施しています。



※教育機関担当者連絡先等の詳細は、マイページのメニュー
【生涯学習管理】→【各種検索・申込】→【教育機関検索】からご確認ください。

認定理学療法士に 期待される3つの役割

- 特定の理学療法分野において、より水準の高い理学療法を安全かつ適切に実施し、最新で良質なサービスを提供する理学療法士の役割
- 自施設や教育機関等において、水準の高い理学療法を指導・教育することができる理学療法士の役割
- 先駆的な取り組みやその成果など、診療報酬制度や政策提言に結びつくエビデンスを蓄積する理学療法士の役割

21
認定分野

- 脳卒中
- 神経筋障害
- 脊髄障害
- 発達障害
- 運動器
- 切断
- スポーツ理学療法
- 徒手理学療法
- 循環
- 呼吸
- 代謝
- 健康増進・参加
- 地域理学療法
- 介護予防
- 補装具
- 物理療法
- 褥瘡・創傷ケア
- 疼痛管理
- 臨床教育
- 管理・運営
- 学校教育

Epilogue

リガクさんが学びのツールとして活用した生涯学習制度は、個人としての成長だけでなく、社会全体に貢献する理学療法士としての道を切り開くものとなりました。彼の姿勢は、同僚や患者さんにも大きな影響を与え、地域全体の医療水準の向上にも寄与しています。



次ページは、
専門理学療法士

より高い専門性へ
学問的指向性の高い理学療法士

専門理学療法士

取得までのモデルケース

6年目
登録理学療法士

受講

申請▶口頭試問

合格

専門
理学療法士
取得

専門理学療法士カリキュラム

科目群	研修形式
指定研修カリキュラム	eラーニング
都道府県士会主催の学術大会への参加	各大会による
ブロック主催の学術大会への参加	各大会による
日本理学療法学会連合の会員団体が主催の学術大会での発表	各大会による
査読付き原著論文業績	

指定研修カリキュラムで
学びを増やそう!

指定研修カリキュラムのシラバスはこちら▶

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/shitei_syllabus.pdf



論文業績として
対象となる
雑誌
はナニ?

日本理学療法士協会雑誌
各学会／研究会機関誌
都道府県理学療法士会学術雑誌
など…

論文業績申請について
理学療法士の方向け
トップページ
生涯学習
制度について
認定・専門
理学療法士制度について
論文業績
について

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/certif-specialized/#a5>



記載例

口頭試問について

口頭試問では、提出した
ショーケースポートフォリオ、
論文の内容に基づいて、理
学療法士としてより学問的発
展を倫理的かつ科学的に実
践できる能力を問います。



「ポートフォリオ作成例を2つ紹介!!」
記載フォーマットは下記ページ内にあります。

理学療法士の方向け
トップページ
生涯学習
制度について
認定・専門理学療法士
制度について

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/portfolio_sample.pdf



13
専門分野

- 基礎
- 神経
- 小児
- 運動器
- スポーツ
- 心血管
- 呼吸
- 糖尿病
- 地域
- 予防
- 支援工学
- 物理療法
- 理学療法教育

認定・専門理学療法士の

更新要件

※登録理学療法士の更新は別に必要

- ▶5年毎の更新制とし、取得期間の最終年度に更新申請を行うことが必要となる。なお、一定の条件で更新延長を設ける
- ▶6回目以降の更新要件は緩和する
- ▶登録理学療法士を取得していること（登録理学療法士失効者は該当しない）

認定・専門理学療法士の更新

理学療法士の方向け
トップページ
生涯学習
制度について
認定・専門理学療法士
制度について

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/certif-specialized/#a4>



生涯学習制度は、新たな挑戦の原動力であり、これからも理学療法士の成長を支える大きな力となります。この制度は数年おきに見直され、皆さまとともにアップデートされていきます。

専門理学療法士ならびに認定理学療法士の資格を有することは、法人理学療法学会・理学療法研究会の一般会員（日本理学療法士協会会員）の会員要件の一つです。なお、一般会員は、専門・認定理学療法士であれば分野は問いません。

日本理学療法学会連合ホームページ
<https://www.jspt.or.jp/>



Top Message

会長 齊藤 秀之



エビデンスを日常臨床にどう活かすか

過去に、著名な脳神経外科医でもある大学教授から「理学療法士はなぜガイドラインに示されたエビデンスを活用しないのか？」と問われたことがあります。その際、私は1930年代から1980年代までの歩行練習の変遷をレビューし、「理論科学に基づいた経験則に依拠した職人的な技術、または途上の技術が主流であった」と回答しました（理学療法ジャーナル2008:1027-1034）。今日では、理学療法はエビデンスに基づいて発展するようになりましたが、私たちのコミュニティ内においても、理学療法の様々な治療法において、過去のこうした文化を否定できない歴史と風潮があったことは事実です。もちろん、そうした治療法にも一定の価値があると考えています。

しかしながら、ガイドラインやエビデンスを活用することが、患者や利用者の利益を最大化する事例や現象が多々見受けられます。したがって、ガイドラインやエビデンスを適切に活用できる理学療法士こそが、「臨床家として好ましい方向へ行動変容を遂げた」理学療法士であり、そのような理学療法士は「真のプロフェッショナル」と呼ぶにふさわしいと考えます。

このキャリア形成を支えるには、個の認知・精神運動・情意に働きかける組織環境を整備し、「知らなかったものを知る」「理解できなかったことが理解できる」「できなかったことができる」というプロセスを促進するための「職場教育」が重要と考えています。本会が見直した生涯学習制度には、まさにそうした目的と仕組みが含まれています。目指すべきは、リサーチマインドを持った臨床家であり、さらに自らエビデンスを創り出す「志」を育てることです。研究室や高価な測定機器を使用する研究活動と同様に、日常診療そのものを“研究化”する心構えが大切です。

そのためには、「患者が最良の教師である」「注意深い観察が臨床研究のはじまり」「予期しないことや例外を見逃さない心構え」「臨床での偶然の発見が宝物」といった姿勢を大切に、日常診療を通して、臨床研究を育てることが求められます。臨床研究に必要な知識を吸収できる読書や、先輩や同僚との討論や対話を習慣化することも重要です。

皆さん、明日からこの実践をはじめませんか！



【大会概要】
日時：2025年5月29日（木）～31日（土）
会場：東京国際フォーラム（東京都）
※第60回日本理学療法学会学術研修大会（2025年5月31日（土）～6月1日（日））と連続開催

Vol. 4

World Physiotherapyの
Michel Landry 会長からメッセージをいただきました



世界理学療法連盟学会2025に登録し、世界中の仲間と繋がろう！

9月に学会参加登録が開始されました。理学療法の専門職における最大級の国際的な集まりであり、昔の仲間と繋がり、新しい仲間と出会うことのできる絶好の機会です。

[参加をすることで以下のような機会や経験を得ることができます]

- 海外の仲間と対面で会える
- 世界的な専門家や各分野のリーダーから最新の知見を学べる
- 低、中、高所得国 / 地域での経験を反映した専門的なトピックスを世界的視点で聞ける
- 実践に役立つ新しい考え方や最新の研究を発見する
ー 過去の参加者の80%が「新しい知識を得られることが大きな利点だ」と回答
- イドバタ（井戸端）・セッション、インダストリー・ワークショップ、タキビ（焚き火）・セッション（会話やネットワーキングを中心とするセッション）など、さまざまなインフォーマルセッション（気軽に参加できるセッション）で、専門職に関連するトピックの議論に貢献する。
- スタートアップ・ゾーンやインダストリー・ワークショップを含む、業界の最新インベーションとサービスを紹介する大規模な展示会を見学する

本会会員は、会員限定割引価格が適応されます。マイページより参加登録ください。
※当日の参加登録は会員価格が適応されません。
詳しくは、こちら
https://www.japanpt.or.jp/privilege/international/world_physiotherapy_congress_2025/



仕事を守る、生活を守る 理学療法士と 政治活動

国政や地方議会で活躍する理学療法士や、連盟を含めいろいろな形で政治活動を行っている理学療法士に登場いただき、業界をとりまくさまざまな課題やその解決に向けた取り組みを紹介いただきます。

病院から転職する際に、市町村ごとに介護保険の解釈やリハビリテーションに対する考え方が異なり、地域ごとの特徴があることを感じました。その中で、自分が住み続ける地域の医療・介護体制をより良くしたいという思いが強まり、さらに活動の幅を広げたいと市議会議員に出馬

しました。現在、地域の皆さまの声に耳を傾けながら、理学療法士ならではの視点で医療・介護について議会質問や行政への要望活動に取り組んでいます。この2年半余り、無我夢中で取り組んできたなかで、自身の力不足を感じる場面も多々ありました。市議会議員として改めて痛感したのは、理学療法士やリハビリテーションに対する地域の理解がまだまだ不十分であるということです。地域社会において、理学療法士の力が必要とされる場面は数多くあります。臨床で結果を出すことはもちろんのこと、理学療法士の役割を広く発信していくことが今後の課題だと感じています。理解が深まることで、さら

に多くの活躍の場が私たちに与えられるはずです。医療・介護現場では、理学療法士の今後を心配する声をよく耳にします。多くの理学療法士が医療保険や介護保険の下で従事していますが、その待遇を決定しているのは政治です。田中まさし先生のように、理学療法士を1人でも多く国政に送り出すこと、また地域の国会議員に理学療法士やリハビリテーションの重要性を理解していただくことが、そうした不安を解消するための最短の道です。業界全体が一丸となり、私たちの声を国政に届けられるよう努力していきましょ。私も三重県から精一杯頑張ります。

中田 耕平

1986年4月、三重県津市生まれ、津市育ち。2009年、畿央大学健康科学部を卒業し、理学療法士国家資格を所得。以降、総合病院で医療保険分野に従事し、介護老健保険施設において入所・通所・訪問リハビリに携わる。その経験を活かし、2018年に三重つくし診療所リハビリセンターを開設。2019年、認定理学療法士（地域理学療法）を取得。2021年、株式会社P5を設立。理学療法士として、また地域住民として、地域と共に活動し、2022年、津市議会議員に初当選。





高山 文博(たかやま ふみひろ)

特別養護老人ホーム高田光寿園・
高田デイサービスセンター

Fumihiko Takayama

1950年三重県津市生まれ。
1985年愛知医療学院卒業、特定
医療法人庵純会榊原温泉病院就
職。1995年玉城町立玉城病院
転職。2009年社会福祉法人高
田福祉事業協会へ転職。現在に
至る。専門は現在も地域リハビリ
テーションであり、介護保険創成
期より行政の地域支援活動などに
積極的に関与し、現在も土会活
動の介護予防事業など幅広く地
域活動に従事している。

本コーナー「生涯現役」では、生涯現役で活躍する先達から会員の皆さまへメッセージを募集しております。
お問い合わせ先：JPTA NEWS 担当 news@japanpt.or.jp

生涯現役

人の笑顔を見たかった

現在74歳、津市内の特別養護老人ホーム高田光寿園・高田デイサービスセンターにて週3日間の非常勤で再就職し、15年が経ちました。利用者様の機能訓練を担当しており、地域との関わりがもともと好きだったこともあり、この仕事を続けていて本当に良かったと感じています。

医療リハビリテーションとは異なり、私たちが提供するの自宅での生活に密着したリハビリテーションです。身体機能を高めるだけでなく、残された機能を最大限に活用し、生活を豊かにすることが目的です。このようなリハビリテーションの中で、理学療法の技術が非常に役立っています。改善し、困りごとを解決すると、利用者様にとても喜んでいただけます。その姿が、私の仕事に対する励みとなっています。

私が就職した頃は、実技講習会を受けるために大阪や東京へ泊まりがけで行きました。AKA（関節運動学的アプローチ）の治療技術、パリス徒手療法、筋膜リリースの講習会などに参加し、

臨床技術を高めることができました。これらの技術は、今でも痛みの治療に非常に役立っており、患者様や利用者様の信頼を得ることができました。一緒に喜びを分かち合える瞬間は、私にとって貴重な経験です。

また、ポジショニング・シーティング技術も習得しました。これは、姿勢を整え、移乗の介助負担を軽減させるため在宅系のリハビリテーションを行っていくうえで役立ちました。さまざまな講習会に参加することで、患者様や利用者様に還元できることはもちろん、同じ目的を持つ仲間とディスカッションをする機会も得られました。講習会を通じて困った事例を相談し合えることもでき、非常に有意義な時間でした。

最後になりますが、私が理学療法士を目指した理由は、「人の笑顔を見たかった」からです。これからも、利用者が笑顔で過ごす時間を少しでも持てるよう、相手の困りごとに耳を傾け、動作をゆっくり観察しながら、ともに歩んでいきたいと思っています。

INFORMATION

会員数 **143,455名** 2024年9月末現在
* 休会者含む

マイページのご利用について

ログインID
パスワード(PW)の
再発行

マイページへログインできない場合は、マイページログイン画面下の「ログインできない方はこちら」より、ID・PWの再発行申請をお願いします。

(注) お電話によるID・PWのご照会には行っておりません。
<https://www.japanpt.or.jp/inquiry/faq/mypage/system20002.html>



会員
マイページ専用
アプリのご案内

本会では、会員マイページ専用アプリを提供しています。専用アプリでは、マイページへのオートログインやQRコード読取機能による研修会参加受付が可能になるほか、本会・都道府県理学療法士会からのお知らせがプッシュ通知で受信できます。ぜひ、アプリをダウンロードのうえ、ご活用ください。

<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/newsystem/>



会費割引制度のご紹介

本会では、「育児休業」・「シニア」・「海外会員」について年会費の割引制度を設けております。
本会ホームページにて申請条件をご確認の上、対象となる方はマイページからお手続きください。

※申請された翌年度の年会費に割引が適用されます。(～2/20まで)

[理学療法士の方向けサイト](#) ▶ [各種手続き](#) ▶
[年会費割引制度申請](#)
<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/06/>



クラブオフ 今回のおすすめ！

＼メガネを通して美しく豊かな人生を。／

J!NS メガネのJINS
メガネ/サングラス/
オプションレンズ代 **10% OFF**

※他の割引・優待等との併用はできません ※一部クーポン対象外となる商品がございます

ご利用の際には、
「日本理学療法士協会 クラブオフ」
へ登録・ログインください。
◎その他のサービスの詳細はWebで検索



協会運営に関するご案内

- 2024年10月19日(土)に第4回理事会が開催され、10月20日(日)には組織運営協議会が開催されました。
理事会抄録については、会員限定コンテンツよりご覧ください。

[会員限定コンテンツ](#) ▶ [協会運営・資料一覧](#) ▶
[総会・理事会等資料](#) ▶ [理事会抄録](#)
<https://www.japanpt.or.jp/privilege/management/minutes/#title02>



●今後の予定

- 2024年12月7日(土)：賛助会員懇談会、第5回理事懇談会
- 2025年6月7日(土)、6月8日(日)の2日間開催：2025年度第54回定時総会

異動手続きについて

所属施設・自宅住所の変更等の会員登録内容の変更は、本会ホームページの手続案内をご確認のうえ、マイページからお手続きください。

※施設情報の変更は、施設会員代表者または施設会員代表者代理に割り当てられた方が行ってください。【マイページ】⇒【登録内容の変更・確認】⇒【施設情報管理】。
※海外会員に登録される場合は、会費の支払い方法について確認させていただきますので事前に本会事務局へご連絡ください。

[理学療法士の方向けサイト](#) ▶ [協会からのお知らせ](#) ▶
[各種手続き](#) ▶ [勤務先・自宅住所・氏名等の変更](#)
<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/01/>



休会・退会・復会の手続きについて

会員区分の変更は、本会ホームページにて各種手続きをご確認のうえ、マイページからお手続きください。

※休会を継続する場合、1年ごとの申請が必要です。申請受付期間(1月1日～3月31日)にご申請ください。手続きがない場合は規定により退会となります。
※退会後、生涯学習履歴・取得資格は無効になります。また、納入済みの当年度年会費はご返金いたしかねます。

休会中・退会後は以下の権利が停止となります。

- 各種研修会・学会等への会員価格での参加(非会員理学療法士と同様の対応となります)
- 各種学会への無料での演題登録
- 会報誌「JPTA NEWS」の発送
- 理学療法士賠償責任保険への加入(全員加入・任意加入)
- 福利厚生サービス「クラブオフ」の利用など
- 役員候補者選挙および代議員選挙の選挙権、被選挙権

[理学療法士の方向けサイト](#) ▶ [協会からのお知らせ](#) ▶
[各種手続き](#) ▶ [マイページ](#) ▶ [登録内容の変更・確認](#)
<https://mypage.japanpt.or.jp/mypage/member/dataChange/confirm>



[マイページ](#) ▶ [登録内容の変更・確認](#)
[本人情報の確認・更新](#)
<https://mypage.japanpt.or.jp/mypage/member/dataChange/confirm>



※Web環境がない場合、手続きについては本会事務局(TEL: 03-6804-1421)へお問い合わせください。

コツコツ学ぼう！

登録理学療法士
更新ポイント
問題解答

登録理学療法士の更新ポイントの取得方法の一つに、JPTA NEWSの問題解答があります。全問正解で、1ポイント取得できます！
登録理学療法士の方は、更新資料をご確認のうえ、右記のQRを会員専用アプリで読み込んで、ぜひチャレンジしてみてください！



カリキュラムコード **118 胎生期における発達過程** 解答期限は12月19日まで

マイページのセミナー検索画面からも申込可能(セミナー番号: 127218)、申込期限は「12月18日」です。

※解答完了後、翌日中に履修履歴へ反映されます。

登録理学療法士制度の概要はこちら ▶ <https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/registered/>
コツコツ学ぼう！登録理学療法士更新ポイントに関するお問い合わせは、**本会ホームページ FAQ**からお願いいたします。

HOT TOPICS

JICA 海外協力隊 連携派遣開始について

本会はJICA（国際協力機構）と合意書を締結し、本会が推薦する会員をJICA海外協力隊の隊員として海外へ派遣する連携事業（長期・短期）を開始します。2030年まで約5年間で、複数名の会員を推薦・派遣する予定です。本事業に関する説明会や国際活動への協力者の人材バンク登録などの情報は、本会国際事業課のSNS（Facebook、Instagram、YouTube）でも配信しています。ぜひ、登録・フォローをお願いします。

理学療法士の方向けトップページ ▶ 国際事業 ▶

国際活動で活躍したい方

<https://www.japanpt.or.jp/pt/international/workandstudyabroad/>

▼JICA



▼人材バンク



▼SNS



「2024 職場における腰痛予防宣言！」 にご参加ください

日本の業務上の疾病で最も多いのは「腰痛」です。特に保健衛生業においては、業務上疾病の約8割を占めています。腰痛は従業員の休職や退職を引き起こし、個人の健康問題にとどまらず、経営者にとっても労働人材の確保や労働生産性の低下という深刻な問題となっています。今年で4年目を迎える本キャンペーンでは、例年と同様に、会員の皆様が各施設で実施される腰痛予防の取り組みを支援いたします。皆様のご参加をお待ちしております。



理学療法士の方向けトップページ ▶ 職能活動 ▶

健康づくり・予防活動・保健事業

<https://www.japanpt.or.jp/pt/function/healthpromotion/>



日本理学療法士協会雑誌 Up to Date NEWS

【第2巻 第4号 発行予告!】

今号は「第59回日本理学療法学会研究大会 in 東京」の特集号です。発行は11月20日（水）を予定しております。

【投稿論文募集中!】

詳しくは本会ホームページ掲載の「投稿規定」をご確認ください。

雑誌は本会のマイページから閲覧ください。

マイページ ▶ 会員限定コンテンツ ▶ 生涯学習支援 ▶

日本理学療法士協会雑誌 Up to Date

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/lifelonglearning/uptodate/>



4年制大学化推進部会 シンポジウム開催のお知らせ

4年制大学化推進部会では、議会・行政関係者や研究・教育等に携わる有識者をお招きし、シンポジウムを開催いたします。

ご興味ある方は、ぜひご参加ください。

日 程：2025年1月26日（日）13:30～16:00

受 講 費：無料

開催形式：オンライン

受付方法：本会マイページの「セミナー検索・申し込み」から。（セミナー番号：130737）

※先着順となります

受付期間：12月15日（日）まで

※本シンポジウムは、開始から終了まで、すべてを受講することにより、登録理学療法士更新ポイントまたは、認定・専門理学療法士更新点数取得が可能です。



マイページ（会員限定コンテンツ）
へのアクセスはこちらから。

※会報誌バックナンバーも御覧いただけます。

※紙媒体の会報誌が届いていない方はHPお問合せよりご連絡ください。

JPTA-Topics > 会報誌「JPTA NEWS」> バックナンバー



公益社団法人

日本理学療法士協会

JPTA Japanese Physical Therapy Association

公益社団法人 日本理学療法士協会会報誌 号数：No.351

発行日：2024年10月20日

発行人：公益社団法人 日本理学療法士協会

〒106-0032 東京都港区六本木七丁目11番10号

TEL：03-5843-1747 FAX：03-5843-1748

代表：斉藤秀之

編集：日本理学療法士協会 事務局

本会HP：<https://www.japanpt.or.jp>

HPへアクセス

